



子どもアドボカシーの可能性

～アドボケイトはなぜ必要か～

2019年1月27日(日)1:30～4:30

名古屋国際センター第1会議室

参加費:500円

子どもが話したいことを自ら話せるように支援・援助するとともに、子どもの思いや意見を代わって表明する「子どもアドボカシー・サービス」。今なぜ必要なのか、どうしたら広げることが出来るか、イギリスの制度や日本においてもはじまった実践事例を通して、その可能性を探ります。

プログラム

13:30 基調講演「子どもアドボカシーの可能性」

講師：堀 正嗣氏（熊本学園大学教授）

14:15 実践事例に学ぶ

事例1：三重県アドボケイト・コーディネーター導入のきっかけ

事例2：学習支援事業チャンス塾における訪問アドボケイト

事例3：栄留里美氏（大分大学助教）による児童養護施設への訪問アドボケイト

15:00 意見交換

グループ1：堀正嗣氏を中心に子どもアドボカシーの日本展開の可能性を考えます。

グループ2：栄留里美氏を中心に実践事例を通して今後の課題やこれから必要なものを考えます。

16:00 講師からの提言

意見交換を踏まえて、堀氏と栄留氏から実現に向けての提言をいただきます。

16:30 終了

◆申し込み：先着70名。名前、所属、連絡先（メールアドレス）を明記し kyou.hara@nifty.ne.jp まで

主催：こどもフォーラム

〒450-0001 名古屋市中村区那古野 1-44-17 嶋田ビル 203 伊勢三河ネットワーク共同事務所内